

伊勢湾漁場環境浄化型推進事業 アサリ資源管理型漁業推進事業

水野知巳・程川和宏・日向野純也¹⁾・長谷川夏樹¹⁾・竹内泰介²⁾

¹⁾ (独) 水産総合研究センター養殖研究所・²⁾ 三重県農水商工部水産資源室

目的

伊勢湾のアサリ漁場の生態系管理を促進し、アサリ資源の持続的利用をはかるため、漁業者の資源管理活動を支援し、漁業者向けのアサリの資源管理指針を作成する。

方法と結果

① アサリ資源動向把握

伊勢湾全域のアサリ浮遊幼生の発生動向および桑名地区、松阪地区、伊勢地区の主要漁場におけるアサリ稚貝、成貝の生息状況・肥満度を把握した。

20年度はアサリの肥満度(全重量に対する軟体部の割合)が35%を超え、伊勢湾全域で春季と秋季に200個体/1000Lを超える浮遊幼生密度が観測され(図1上段6月)、桑名、松阪、伊勢地先で大量の稚貝発生がみられた一方で、21年度春季の肥満度は25%程度と低く、浮遊幼生の発生も20年度より低調であった。20年度産稚貝

は21年夏季までに5mm程度に成長し、雲出川・榑田川・宮川河口では平方mあたり5千個体を超える密度で見られたが、21年10月初旬の台風による漁場の攪乱で大部分が消失した。この台風では、稚貝だけでなく漁獲サイズも減少し、津・松阪地区では1人当たりの漁獲量が15kg程度と半減、明和・伊勢地区ではおおむね5kg以下と激減した。桑名地区はこの台風以前の21年7月～8月にかけての長雨による塩分低下でアサリ稚貝・成貝が減少しているため、22年10月台風以降、鈴鹿地区を除く伊勢湾の大半で極めてアサリ資源が少ない事態となった。

その後12月には高密度の浮遊幼生が発生し、22年3月現在、松阪および明和町沖の干潟には5万個体/m²の密度で着底稚貝が生息している。しかしながら、これらの稚貝が無事に生残・成長したとしても、漁獲加入は23年度以降となることから、漁獲サイズの少ない状況が当面継続することが危惧される。

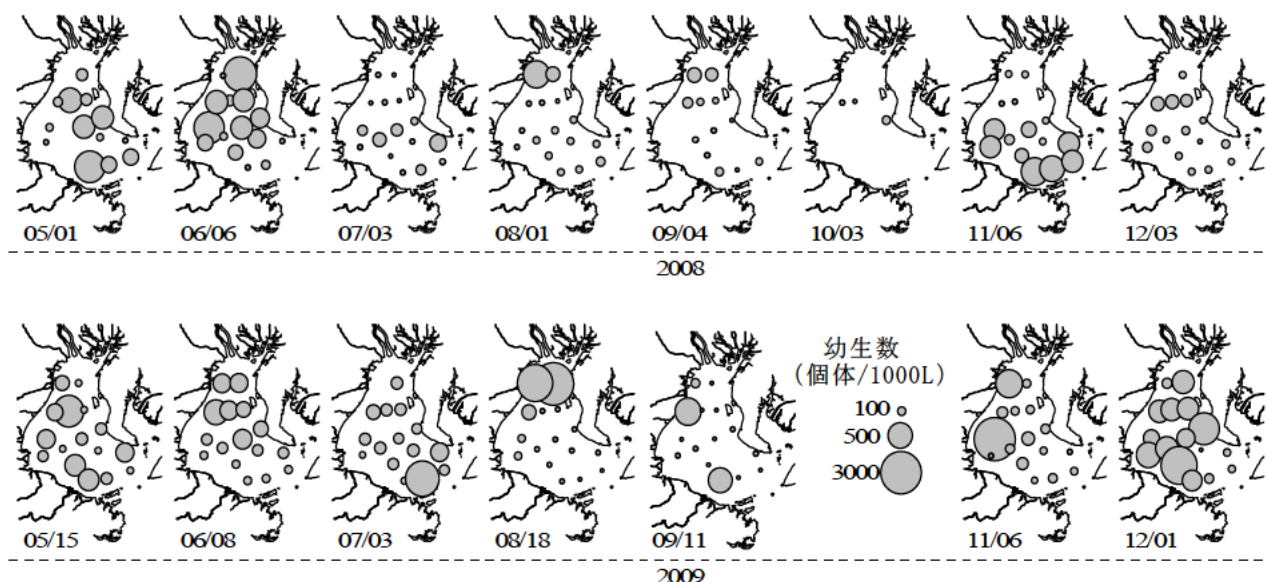


図1. 伊勢湾のアサリの浮遊幼生分布

② 漁業者のアサリ資源管理の支援

松阪沖潮下帯漁場(県の基盤整備事業で覆砂を行った漁場)において、21年4月に雲出川河口産稚貝10トンを、移動放流した結果、10月までに10mm程度の成長が見られ、歩留まりは7割を超えたが、10月の台風の攪乱によりほとんどのアサリが消失した。

松阪沖潮下帯の漁場耕耘区域および下御糸沖漁場耕耘区域において、榑田川産のアサリ稚貝を移動放流したが、2ヶ月後には約95%のアサリがツメタガイによって食害被害を受けたことが分かった。

宮川河口において、5月以降、網張りによる稚貝の保護を行い、9月には対照区の倍以上のm²当たり1,000個

体以上の密度でアサリ稚貝が生息していたが、10月の台風の攪乱によりほとんどのアサリが消失した。

鈴鹿沖潮下帯漁場において、冬季3ヶ月間アサリとカキをノリ筏に垂下した結果、アサリの軟体部重量は1.6倍に、カキは2.4倍に増えた。

伊勢今一色の干潟漁場において、多段式ふるいを用いた漁業者のアサリ生息状況調査に協力した。

二枚貝資源管理の支援として、木曾三川シジミ協議会のシジミ資源分布調査と赤須賀漁協のハマグリ資源分布調査の指導・協力を行った。

③ 資源管理マニュアル作成と普及

「アサリ資源管理マニュアル～伊勢湾のアサリを守り育て活かす～」を刊行し（図2）、三重県アサリ協議会等の研修会等で利用した（本マニュアルは三重県水産研究所HPからダウンロード可能）。なお、研修会の実施状況は以下のとおりである。

◇21年4月13日、伊勢湾のアサリ資源と漁場環境，赤須賀漁協研究会総会（桑名市）

◇21年9月1日、松阪地区の漁場環境とアサリ資源，松阪漁協アサリ研修会（松阪市）

◇22年2月12日、アサリ資源研修会（明和町）

◇22年3月16日、三重県アサリ協議会（松阪市）

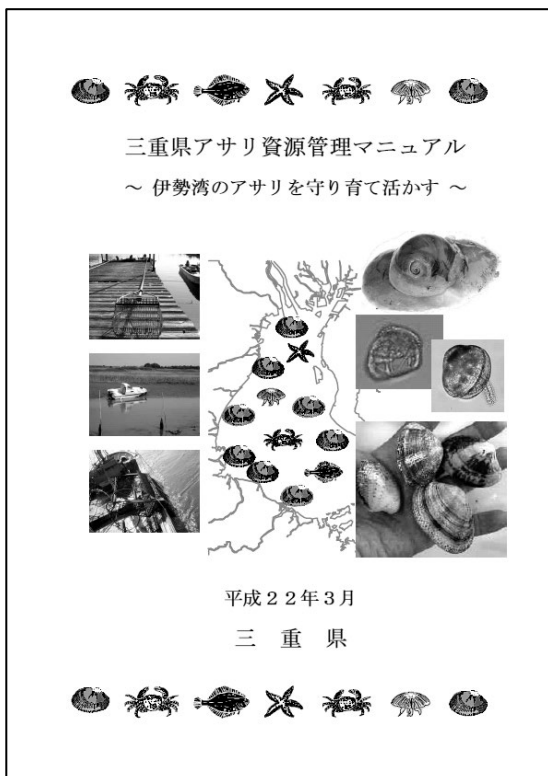


図2. 三重県アサリ資源管理マニュアル
～伊勢湾のアサリを守り育て活かす～
(31 ページ，22 年 3 月 発行)

関連報文

◇論文等

・4月，伊勢湾のアサリ資源と漁場環境「水産学シリーズ161 アサリと流域圏環境－伊勢湾・三河湾での事例を中心として」恒星社厚生閣，東京，pp.9-25

・5月，伊勢湾における二枚貝類漁業の変遷・現状と今後の展望，水産海洋研究，73，2，108-110.

・9月，三重県における伊勢湾のアサリ漁業の変遷と展望，三重県水産研究所研究報告，17，1-21.

・2月，共著；数値シミュレーションによる伊勢湾のアサリ資源量の減少傾向に関する考察，水工学論文集，54，1597-1602.

・2月，共著；成長モデルを用いた伊勢湾伊勢地区におけるアサリ資源量の変動要因の推定，水工学論文集，54，1603-1608.

◇冊子等

・8月，アサリと伊勢湾1，海と人間(海の博物館情報誌)，vol.189.

・11月，アサリと伊勢湾2，海と人間(海の博物館情報誌)，vol.190.

・3月，アサリと伊勢湾3，海と人間(海の博物館情報誌)，vol.191.

・3月，三重県のアサリ資源の再生に向けて，水産研究所だより，三重県水産研究所.

・3月，三重県アサリ資源管理マニュアル～伊勢湾のアサリを守り育て活かす～，三重県，31pp.